

ユニオンファンド 月次レポート

第168号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2022年11月7日作成

MONTHLY TOPIC

「順張り」「逆張り」「?張り」

人の行く 裏は地獄か 天国か

株式市場には、先人たちがその経験から紡ぎだしてきた名言や格言が数多く残されています。底値で買って天井で売ることは、洋の東西を問わず多くの投資家が一度は夢に見るので、当然それにまつわる言葉もたくさんあります。「人の行く 裏に道あり 花の山」や「落ちてくるナイフに手を出すな」などはその代表的な例でしょう。

前者は、「人と同じことをしていても儲からない」、つまり、下げ相場であれば、みんなが株を売っている時こそ買うべきだと言います。一方、後者は「大底を狙って下落相場で買うのは危ない」との警告です。言っていることが正反対なので、いったいどちらが正しいんだと思われるかもしれません。私も若いころは戸惑いましたが、「正しい時もあるが、間違っていることもある」というくらいに思っておいた方が良いでしょう。

順張りと逆張り

これは格言ではありませんが、二つの異なった投資スタイルとしてよく知られています。今のような下落相場の場合で言えば、素直に売っていく「順張り」と、下げに逆らって買い向かっていく「逆張り」の二つです。

ここ1年ほどのように下げ相場が続くと、当初逆張りで対応した人は大きく損をしているでしょう。下げ相場に逆らわず売り一辺倒できた順張り派の勝ちだったと言えます。しかしいつかはその流れも変わります。株価が上昇に転じてしばらく上がり続ければ、逆張り派が安値で買い続けたものの損は小さくなり、いずれどこかでプラスになるでしょう。順張り派は、それまでの売りから買いに転じて、相場についていこうとしましょう。どちらも、常に成功するわけではないですが、そこそこうまくいくこともあるだろうと思います。

これだけは避けた

おそらく最もうまくいかないと思われるのは、下げ相場でさらに下落するのを待って待って待ち続け、大底でドカーンと買おうとすることです。よく言われるように、底値でうまく買うというのはとても難しいものです。投資環境があまりにも悪いときは手を出さない、という慎重さが必要なこともありますが、過度の慎重さは考え物です。この不透明な時代（と言いますか時代は常に不透明なものなので）、最後まで買えずに終わることになりかねません。そうした人ほど、かえって高値で買う羽目に陥ることもあります。

大底買いと天井売りにこだわることは、順張りでも逆張りでもない「欲張り」の名こそふさわしいと思っています。投資の仕方は人それぞれですが、私を含め、欲張りにならないよう気を付けたいものです。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2022年10月末現在)

基準価額

29,764円

純資産総額

102億90百万円

期間別騰落率(%)

1ヶ月	4.24%
1年	-4.30%
3年	23.85%
5年	15.21%
10年	134.33%
設定来	197.64%

複利年率(%)

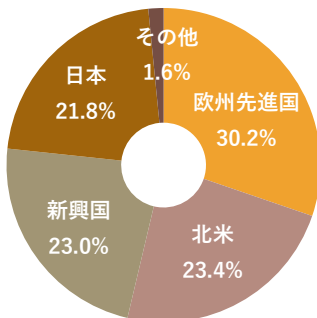
8.08%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

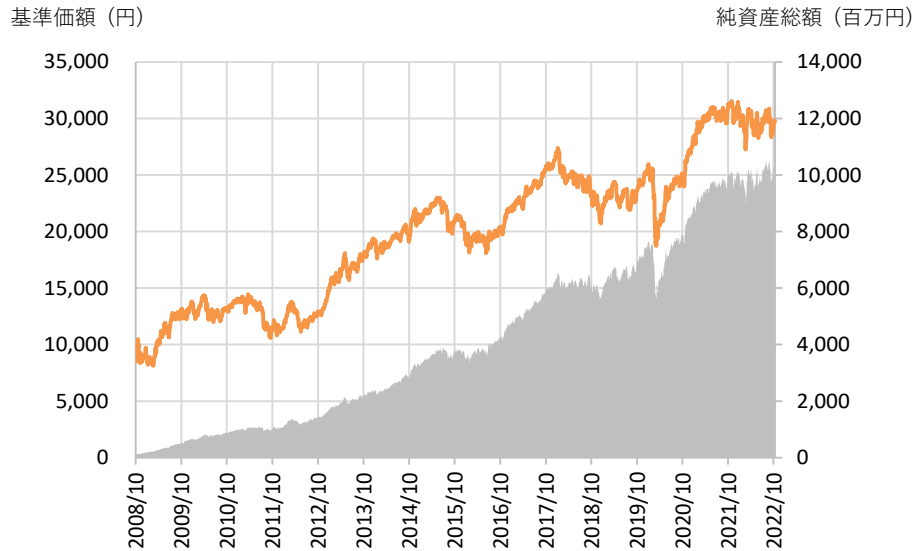
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2022年9月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみF	日本	4.9%	0.5%
スパークスF	日本	12.2%	1.0%
キャピタルF	欧米	19.1%	8.7%
ハリスF	欧米	19.0%	7.2%
コムジェスト・ヨーロッパF	欧州	11.3%	8.8%
コムジェスト・エマージングF	新興国	18.9%	1.5%
現金等	-	14.7%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2022年10月の市場動向と運用状況

投資環境

月初は米国で弱い景気指標が発表され、利上げピッチの鈍化期待から株価は上昇したものの、雇用統計が予想以上に強かったことから、今度は利上げ継続懸念が再燃して急反落する、といった荒れた展開でした。しかしその後は回復が続きました。前月このページでは、「ちょっとしたことをきっかけに、株価がスルスルッと上昇しても不思議ではありません」と書きました。予想どおりとは言いませんが、予想の範囲内の動きだったとは言えそうです。

世界の株式市場はおおむね堅調でしたが、中国（および香港）では月の後半にかけて株価が急落する場面がありました。共産党大会とその後発表された役員人事で、習近平総書記への権力集中が予想以上に進んだためです。国内では公平さを、対外的には安全保障を一層重視することで、経済発展が損なわれるとの警戒感が広がりました。

為替市場では、米国の利上げが鈍化するとの観測がたびたび広がったため、ドルよりもユーロが強くなるという若干の変化が見られましたが、円に関しては、低金利政策の継続を背景に下落するこれまでの傾向が続きました。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、欧米の株価堅調と円安により、主として欧米株式に投資するファンドが非常に好調だったため、基準価額は上昇しました。

今月は売買を見送りました。月末時点の組入比率は85.3%と、前月末とほぼ同水準でした。

今後の見通し

投資家は引き続きインフレ動向と米国をはじめとした世界の中央銀行の金融政策に注目しています。ウクライナ情勢や中国の景気動向など不確定要素が多く、経済の先行きは見通しにくい状況です。

ただ、金利が上がり景気が鈍化するという今の厳しい状態の先に「改善の兆し」も見え始めています。それは、①インフレは依然として高水準ながら、これまでのように加速する状況ではなくなってきたこと、②米国の利上げはまだ続くと見られるものの、ピッチが減速していく可能性が見え始めてきたこと、③世界の株価は今年に入ってそれなりに大きく下落しており、十分とは言えないものの株価の割高感は低下し、また、投資家はすでに相当慎重になっていること、などです。市場からは先行きを懸念する声は絶えませんが、懸念要素は徐々に想定範囲内に収まりつつあると思われます。

企業業績については、世界的に今後も減速や悪化が進む可能性がありそうです。ただ、肝心なのは、投資先の企業がバタバタ倒産するなどという事態は全く考えられない、という点です。

先行きが不透明だというのは、市場解説者の常套句です。株価が低迷し弱気心理が優勢となっている今のようなところ、逆風が吹き止んで株価がごく普通の上昇相場に戻るときに備え、着々と買い増しを続けていくことが重要です。景気後退に陥る可能性が否定できないため、基本的にはもう少しの間やや慎重な姿勢を維持しますが、株価の下落局面では丹念に買い増しを行っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

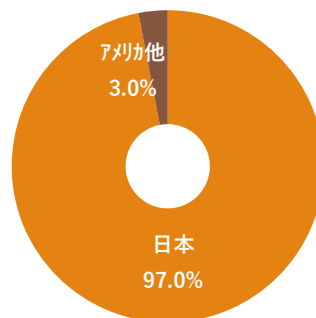
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



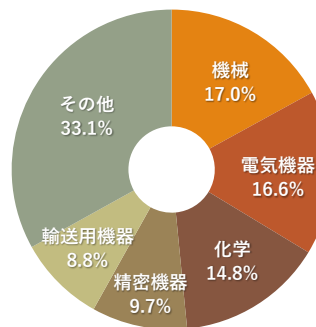
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ダイキン工業	4.3%	日本	機械	エアコン世界首位
2 浜松ホトニクス	4.1%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
3 テルモ	3.8%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 プリヂェストン	3.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 信越化学工業	3.4%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
6 日本電産	3.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
7 トヨタ自動車	3.1%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 花王	2.4%	日本	化学	トイレット紙首位
9 TOTO	2.3%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 デンソー	2.3%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位10銘柄	32.8%		現金等	13.7%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年10月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



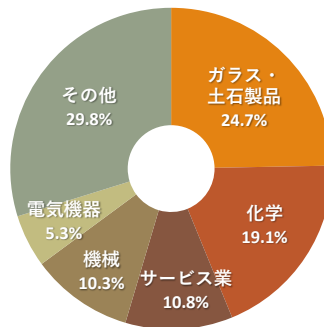
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケア		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ダイレクトマーケティングミックス		日本	サービス業	営業・マーケティング 代行等
パイロットコーポレーション		日本	その他製品	総合筆記具メーカー
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等				5.3%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2022年9月末現在 >

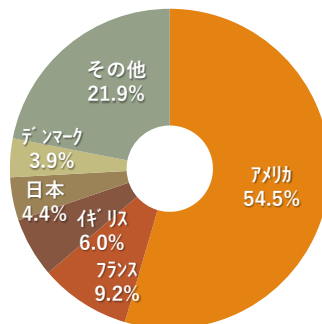
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



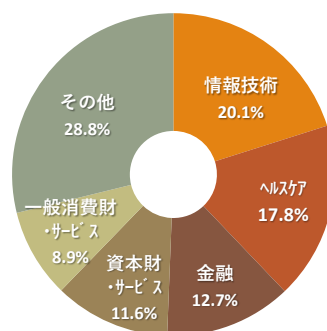
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Microsoft	2.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
2 UnitedHealth	2.1%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
3 Broadcom	1.9%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
5 Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 Chevron	1.6%	アメリカ	エネルギー	石油メジャー
8 ASML	1.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 Alphabet	1.4%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持ち株会社
10 Bristol-Myers Squibb	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	薬品会社
上位10銘柄	17.6%	現金等	10.6%	

業種別構成比



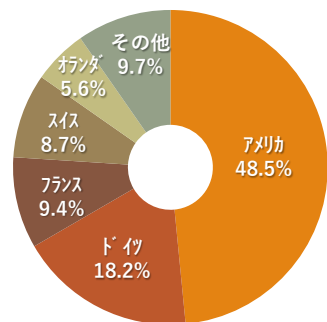
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年9月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



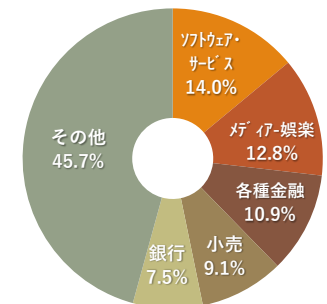
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	6.1%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 FISERV	4.5%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	金融機関向け情報処理サービス
3 BNP PARIBAS	3.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
4 MERCEDES-BENZ	3.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
5 AMAZON.COM	3.6%	アメリカ	小売	ECサイト、ウェブサービス
6 SALESFORCE	3.1%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
7 BERKSHIRE HATHAWAY	3.0%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
8 HCA HEALTHCARE	3.0%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米大手病院経営会社
9 PROSUS	3.0%	オランダ	小売	インターネットサービス
10 ALLIANZ	2.8%	ドイツ	保険	総合保険大手
上位10銘柄	36.3%	現金等	3.9%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年9月末現在>

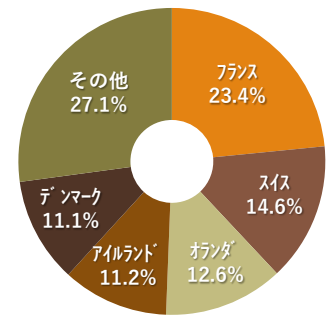
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



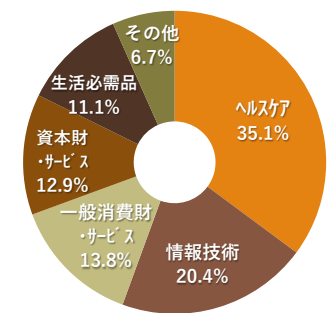
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	7.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ESSILORLUXOTTICA	6.5%	フランス	ヘルスケア	光学製品
3 ASML	6.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 LVMH	4.8%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド 世界大手
5 LINDE	4.7%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
6 ACCENTURE	4.3%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング 会社
7 ALCON	3.9%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
8 EXPERIAN	3.5%	ドイツ	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
9 STRAUMANN HD	3.4%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 JERONIMO MARTINS	3.0%	ポルトガル	生活必需品	スーパー等、食品流通
上位10銘柄	48.5%	現金等	5.0%	

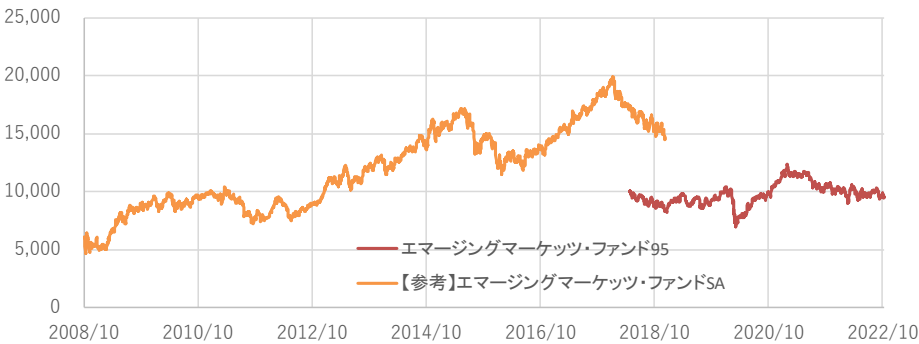
業種別構成比(マザーファンド)



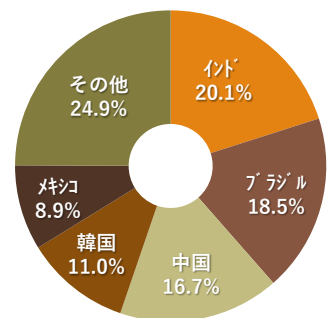
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年10月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



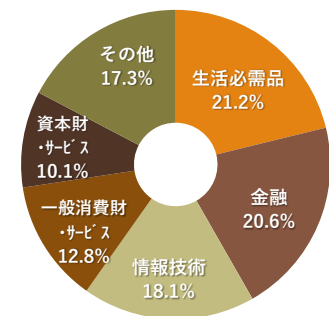
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.9%	インド	金融	インド 最大手の住宅開発金融会社
2 FOMENTO ECONOMICO	5.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
3 BB SEGURIDADE	5.0%	ブラジル	金融	保険大手
4 MARUTI SUZUKI	4.8%	インド	一般消費財・サービス	SUVの子会社
5 LOCALIZA RENT A CAR	4.8%	ブラジル	資本財・サービス	南米最大のレンタカー会社
6 INNER MONGOLIA YILI	4.4%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
7 WEG	4.3%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
8 POWER GRID OF INDIA	4.3%	インド	公益事業	電力関連 (送電網)
9 TSMC ADR	4.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
10 DELTA ELECTRONICS	3.6%	台湾	情報技術	電源、変圧器
上位10銘柄	46.5%	現金等	9.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年10月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

残高情報、評価金額等のご確認について

お客様が保有されている「ユニオンファンド」の残高、評価金額等は、弊社業務管理部へのお電話でのお問い合わせ、またはお取引の都度お送りしております「取引報告書」にてご確認いただけます。

【お電話でご確認いただく場合】

弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までご連絡ください。（営業時間：平日 9：00～17：00）

直近の保有残高口数、投資金額、取得単価、評価金額をご確認いただけます。

※ ご連絡の際に、お客様ご本人様であることの確認（お客様コード等）をさせていただきます。

【「取引報告書」でご確認いただく場合】

報告書内の「取引後残高」項目をご確認ください。

“約定日現在”における保有残高口数、評価金額等が表示されています。

「取引後残高」・・・ユニオンファンドの保有残高口数（取引後）

「取得単価」・・・お客様の取得単価の平均値（取引前・取引後）

「投資元本」・・・お客様の損益のもととなる金額（投資されている元本金額／取引後）

「評価金額」・・・取引後残高の約定日現在の評価金額

（「評価金額」＝「取引後残高」×「約定日の基準価額※」÷10,000）

※「約定日の基準価額」は報告書内「取引明細」項目にあります「1万口当たりの単価」です。

月次レポート受取方法について

【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社 HP で直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mail をご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、“受取方法の「E-mail」への変更”に是非ご協力ください。

- ・月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。
- ・弊社HPでのレポートは、「カラー」のため、グラフ等を鮮明にご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「お取引について」→「メールアドレス・月次レポート受取方法変更」にてお手続きください。

エコの観点からも印刷紙削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）
※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。